

新潟県胎内市における森林ボランティアの実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、CSR活動の一環として、当社の社員および家族からボランティア参加者を募り、11月17日と18日の両日、グループ会社であるジャパンエナジー石油開発株式会社(本社:東京都港区赤坂一丁目、社長:中村雅弘)の中条油業所(所在地:新潟県胎内市、所長:畑中 實)近隣の胎内市村松浜海岸区域内で植林などを実施いたしました。
2. 中条油業所が所在する地域は、冬は日本海から吹き付ける風雪が厳しく、常緑樹の松が砂防林として地域の人々に守られてきましたが、近年は生活様式も変わり、松林の荒廃が進んでおります。特に松食虫の被害は深刻で、中条油業所構内の松林も被害を受け、1990年代初頭に6千本程度あった赤松が1990年代後半には半分以下に激減しました。このため、中条油業所では、1998年から同事業所構内および周辺の松林保全に取り組み、親松から実生松(松の幼木)を得るなど、赤松林の再生に成果をあげてきました。
3. こうした中、当社は、社員のボランティア活動のきっかけづくりとして、中条油業所における環境保全活動の取組みに絡めて、2004年に植林の実習やボランティア体験のプログラムを開始しました。4回目となる今回は、近隣の村松浜海岸区域にある保安林で植林を行いました。
4. 具体的な活動内容は次のとおりです。
 - (1)開催日: 2007年11月17日(土)~18日(日)
 - (2)場所: 新潟県胎内市
 - (3)内容: トベラ、マサキの植林
 - (4)参加人員: 約50名(社員および家族)

(ご参考)ジャパンエナジー石油開発株式会社 中条油業所の概要

所在地: 新潟県胎内市村松浜1873

所長: 畑中 實

事業内容: 天然ガス・原油・ヨウ素の生産

従業員数: 35名

敷地面積: 約25ヘクタール

以上

【添付資料】森林ボランティア活動の様様

